

# 第 117 回放送番組審議会 議事録

## ■日 時

2024 年 6 月 7 日（金）

## ■場 所

スターキャット 伏見ミリオン座 4 階 会議室

## ■委 員

栗原康行委員、森本曜子委員、酒井真由実委員、高田克己委員

## ■議 題

- ・ 前回のご意見振り返り
- ・ 2023 年 10 月～2024 年 3 月における主な取り組み番組の報告
- ・ 2023 年 10 月～2024 年 3 月における訂正・取消し放送およびお客様の声の報告
- ・ 「Nagoya の歩き方」について審議

## ■審議対象番組「Nagoya の歩き方」について

### 番組概要

# 1: "Nagoya" の歩き方～エリとレナがつくるインバウンドツアー～

名古屋の魅力を世界に発信するスペイン人とドイツ人の二人。

“ナゴヤはつまらない！”と様々なツアーを企画

そんな二人が初めて秋のツアーに挑戦。

ツアー客を楽しませるために二人が大切にしていることとは？

企画からツアー本番までを密着取材した。

2024 年 3 月放送。30 分特別番組

# 2: "Nagoya" の歩き方

～訪日外国人に聞いてみた～

名古屋にやってきた外国人はどこへ行くのか？

観光地？ショッピング？それともなごやめし？

街で聞いた様々な国からやってきた外国人のインタビューを

通して名古屋ならではの観光の魅力や課題などを探った。

2024 年 3 月放送。30 分特別番組

## 委員の皆様からのご意見

- ・2022年12月開催 放送番組審議会 審議番組「ナゴヤはつまらない！」にて厳しい意見を述べたが、本番組ではそれを100%受け止め意見を活かして作られている。
- ・番組の展開で“ツアーに客が来なかった”等、成功に至らない描写が逆に人間味が窺え、とても面白い。
- ・取材先飲食店はなかなか取材に応じてくれない店舗と認識。取材陣の交渉努力を評価。
- ・取材時期また撮影許可が得にくいことも理解しているが、日本文化の象徴、相撲ツアーを取り上げられるとさらに面白い。
- ・我々日本人が逆の立場で考えると、海外の街並みを歩いているだけでは面白くない。具体的に名古屋の何を紹介するのか、という観点で切り込んでいくともっと深みが出る。
- ・モノより思い出という風潮がある昨今。出演者が体験ツアーに着目している点に感心。番組を視聴しながら、自分もインフルエンサーになった気分でも共感できた。
- ・外国人インタビュー等、時間をかけて作られているのが窺える。細やかな取材で名古屋のインバウンドが一目瞭然で分かり、楽しめた。
- ・密着取材だけでなく、名古屋観光コンベンションビューローなどにも取材している構成が良い。
- ・ホテルスタッフから「名古屋城は観光しても面白くない」と聞いていた外国人を番組スタッフが連れて行き、結果、感動を生んだシーンが印象的だった。
- ・番組内容はしっかりしているが番組尺30分を集中して観せるより、15分2本に分け気軽に観られるようにしても良いと感じた。
- ・以前に審議した「ナゴヤはつまらない！」と比較し、数段楽しく観れた。制作のレベルアップを感じた。
- ・エピソードごとにナレーターが違ったが、女性（白井奈津）のテンポ、リズムがとても心地よい。楽しくなるナレーションだった。
- ・統計データ・グラフ等、情報が挟み込まれており、興味をもって観れた。
- ・これから取り組まれるであろう3作目に期待がもてる。次のテーマが気になる。是非シリーズ化してもらいたい。
- ・留学生も名古屋を目的に訪日するケースは少ないが、いざ名古屋へ来たり住んでみるとその魅力を感じる方が多いと聞く。住んでいる我々では気が付きにくい点を、外国人の視点で客観的に素直な意見が聞けて良い。
- ・名所巡りだけでなく、茶道等、コト消費（体験）PRにも取り組んでおり、名古屋で日本の文化に触れられる点をPRされており感心。
- ・旅行ツアーに申し込みが無かった等、厳しい面もしっかりと伝えられており良かった。行政含め、エリア全体で考えなければならない課題と認識、共有ができた。
- ・ナレーター白井奈津さんが元気があって好感が持てた。

・番組2本共で宿泊施設等から同一人物に話を聞いているが同じ切り口のコメントになってしまっている印象がある。違う視点、違う立場での話が聞けたら新しい気付きがあったかもしれない。